



NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

# News Release

ニッセイアセットマネジメント株式会社

平成25年3月18日

## 当社ファンドの 「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2013」受賞 について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：宇治原 潔）が設定する株式投資信託「ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式オープン（愛称：12のどんぐり）」と「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン」が、「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2013」において、最優秀ファンド賞を受賞いたしました。

当社は今後とも、お客様の長期的な資産形成に貢献できる商品開発、高品質なサービスのご提供を通じ、皆様にご安心して資産運用をお任せ頂けるよう、不断の努力を続けていく所存でございます。引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 受賞内容

ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式オープン（愛称：12のどんぐり）

・受賞内容：「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2013」

「株式型 グローバル 除日本」部門（評価期間 3年）最優秀ファンド賞

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン

・受賞内容：「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2013」

「債券型 欧州」部門（評価期間 3年）最優秀ファンド賞

#### 2. 受賞ファンドについて

- ・「ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式オープン（愛称：12のどんぐり）」は、実質的に日本を除く世界各国の株式に分散投資をすることにより、安定した配当収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行う追加型株式投資信託です。
- ・「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン」は、実質的に主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等に投資することにより、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行う追加型株式投資信託です。
- ・両ファンドとも、運用指図に関する権限\*を米国ボストンで資産運用業を行う「パトナム・インベストメンツ」のグループ会社である「ザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシー」に委託します。

※ ただし、国内短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます。

### <パトナム・インベストメンツの概要、2012年9月末現在>

- パトナム・インベストメンツは1937年創立の米国で最も古い資産運用会社の1つです。
- 運用資産は約1,269億ドル(約9兆円)、投信残高は約625億ドル(約4兆円)の規模を誇ります。
- 設定済み投信は70本以上、投資家数は約400万人にのびります。
- ファンドマネージャー、アナリストなどの運用担当専門職を148名有しています。

・ファンドのリスク等は別紙をご覧ください

### 3. 「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2013」の概要

- ・「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2013」は、世界各都市で開催している「Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、リッパー独自の投資信託評価システム「リッパー リーダー レーティング システム (リッパー リーダーズ、Lipper Leaders)」の中の「コンシスタントリターン(収益一貫性)」を用いています。

#### <ファンドアワード評価方法について>

- 評価対象ファンドは、日本国内で販売されているファンドのうち、2012年末時点で36ヵ月以上の運用実績のあるファンドです。
- リッパー独自のファンド分類を用い、1つの分類に上記該当ファンドが10本以上存在するすべての分類(「その他セクター」分類、「機関投資家用分類」、「DC(確定拠出型年金)専用ファンド」を除く)を評価対象とします。
- 評価期間は、「3年間」、「5年間」および「10年間」とし、リッパー独自の投資信託評価システム「リッパー リーダー レーティング システム (リッパー リーダーズ)」で採用している「コンシスタントリターン(収益一貫性)」と同様の評価を行い、各分類の最優秀ファンドを選定します。

#### <「リッパー リーダー レーティング システム (リッパー リーダーズ、Lipper Leaders)」について>

- リッパー独自のファンド分類を用いて、4つの評価基準(「トータル リターン(総合収益性)」/「コンシスタント リターン(収益一貫性)」/「元本安全性」/「経費率」)ごとにファンドを評価します。評価表示方法は、全対象ファンドを上位から20%ごとに区切り、最上位20%にランクインしたファンドを最上位の「リッパー・リーダー(Lipper Leader)」とし、以下20%ごとに5段階評価で表示します。3年、5年、10年の各評価期間の評価とし、さらに全期間の平均評価として「総合(Overall)」の評価も表示します。現在「リッパー リーダー レーティング システム (リッパー リーダーズ)」は、世界27カ国において販売されているファンドの評価を付与しています。

#### <ディスクレーマー>

- リッパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

<別紙>

○ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式オープン（愛称：12のどんぐり）

■投資リスク

- 当ファンドは、主に外国の株式を投資対象としますので、組入株式の価格の下落、組入株式の発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、為替の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**
- 当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、「株式投資リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.15% (税込)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に <b>年率1.4385% (税込)</b> をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.042% (税込)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

※当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

○ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン

■投資リスク

- 当ファンドは、主に外国の債券を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格の下落、組入債券の発行体の倒産または財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、為替の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**
- 当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、「債券投資リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>2.1% (税込)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に <b>年率1.2075% (税込)</b> をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.042% (税込)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

※当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## ■ご留意いただきたい事項

- 当プレスリリースは投資の判断を行って頂くものではございません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。

